

第 2回 宮城舞台技術者協会会議 議事録

日時	2020 年 6 月 10 日 13 時 15 分 ～ 15 時 00 分	場所	せんだい演劇工房 10-BOX box-1
議題	(仮称)宮城スタッフ会議の会名等決定、現状報告、確認並びに意見会		

出席者	今野芳明(ファクトリーK) 石井忍、小林道子、高橋克也、櫻井楓(舞台監督工房) 斎藤豊寿、斎藤環江(ライティングケン) 半田透、半田光太郎(ステージクルー) 斉藤浩行、寶玉浩太郎(コントライブ) 永瀬博和(サウンドプラス) 永谷篤彦、佐藤菜奈恵、羽田貞浩(ステージワーカー) 濱田一郎(サウンドデザイン) 荒井豪(エーライン) 國分秀昭(HK customworks) 清水目貴義(パラダイスプロ) 中鉢典男(differ) 鈴木洋行(ドレミハウス) 本儀拓(キーウィサウンドワークス) 佐藤ヒロユキ(GROOVE COUNCIL) 棟居尚(ムネスエ音響) 長尾恵吉(フリーライン) 関紀子 渋谷昌弘(ピーエムシー) 小宮芳紀 橋本徳郎(フォーボックス) 佐野和永(アーツ) 相沢俊一(ボックスステージ) 高橋裕介 菅原玄哉 山品晃彦(THE MODERN WORLD) 村下弘修、宮田孝生(ICC) 各社代表者、フリーランス 計36名		
決定事項	■会の名称、並びに発起人代表者について ○宮城舞台技術者協会」とする。 ○発起人代表者は、今野芳明氏とする。 ■次回の開催について ○6/16 13時～ 仙台GIGS		
会議内容	■前回(第1回)の議事録配布並びに内容確認 ■自己紹介(出席会員36名、馬渡様<仙台市市民文化事業団>、見学者3名<デジタルアーツ舞台美術コース> ■前回(第1回)の開催からの報告 ○仙台市議会議員(氏名不明)さんから「アーティストさんや劇場等には支援があるようですが、裏方スタッフさんはどうなっていますか？」との意見質問が仙台市長にあがる。仙台市からの指示で、各市内の財団さんに調査の依頼があった。10-BOXの馬渡工房長さんのところへも調査依頼がくる。 5/27に私たちが会議をした話を伝えていただく。報告書の提出を仙台市から求められる。 →結果、報告書を仙台市長さんまで届けることができた。 ○同じく5月下旬、仙台市内のライブハウス、イベンターさん方が集まり、会議をおこない、また非公開で、知事さんとの意見交換会を行っていた。 ■会の結成について(事務局側からの説明提案) ○私達スタッフが集まり、できることはなんだろうか。 ○会場費の値下げ等を訴えたり、利用者が不安になっているために、公演をキャンセルしたりしている。 ○まもなく、各関係各所からガイドライン等が示されることになっていますが、皆さんがお察しの通り、各事業ごとに、当然のように対応が異なってくると思われる。私達スタッフも新しい仕様をしっかりと理解すると共に、共通の認識を持って仕事をした方が、取り組みやすいと思われる。 一人の活動ではできないことも、多数が集まり活動していくことにより、検証も含め、行動を起こしやすくなる。 ○集まって、2回目の会ではあるが、会名をきちんと決めて、活動していきませんか。 ○今後、コロナのみならず、災害等で仕事ができなくなってしまう時、情報交換等の場やその情報を手に入れやすくする場所が必要ではないか。 ○毎回参加できないからと言って、その方を除外する会にもしたくない。皆さんに必要とされる会としていきたい。 ■会の発足の決議をする ○全員一致で会を発足することを決定する。		

会議内容	■会の名称を決定する ○事務局より、提案「宮城舞台技術者協会」 ■会の名称の決議をする ○全員一致で会名を決定する。 ■会の発起人代表を決定する ○事務局より、提案「今野芳明 氏」 ■発起人代表の決議をする ○全員一致で会名を決定する。 ■発起人代表の決議をする ○全員一致で会名を決定する。 ■今後の活動提案 ○仙台GIGSさんから、ライブハウス検証事業をやってみませんかとの提案。5/27の会の際にも意見としてあった、「ライブハウス、ホール等において、スタッフ側で検証してみてもどうか？」という考えと非常に近いものがある。協会としての一つ目の活動にしていっていいのではないかな。 ○アーティストの選別も含め、協会に委託したいとの仙台GIGSさんからの提案。2～3アーティストを希望。 ○また、8月以降は、他の県内のホール等においても検証を行っていきたい。 ■その他意見等 ○協会の集まりに参加できなかった時などに、どんな話し合い等がなされたか知りたい。→HPを現在作成中 ○私達が協会等の活動をするにあたり、コロナにかかるリスクがあるのではないだろうか。事前にPCR検査等受けさせるとか考えているのか。 →現状は、参加者名簿を保管、参加前の体調確認程度に限られてしまう。→情報収集いたします。 ○会を今後どういう方向に持っていきたいのか。活動をしていくのにも、資金等が必要である。協会として、補助金等の申請とかは検討しているのか。 →現在、活動資金として、仙台市の「多様なメディアを活用した文化芸術創造支援事業」に応募いたしました。 ○今後の団体としての活動目的、事業計画案を示していただきたい。それにより、会員がどんな活動を提案していけるのか、考えやすいと思う。 →次回にお示しできるように準備いたします。 ○東北共立さんが参加されていないが、声がけはされたのか。→致しました。時期をみて再度声がけをさせていただきます。 ○わらび座さんが再開されたようだが何か参考になる情報はありますか。→クラウドファンディングで必要経費等の補助を受けた。6/6からスタートはしたが、土日のみの公演、客席も市松模様の配置でお客様を迎えて公演をはじめた。→さらに詳しく調べてお伝えできるようにします。 ○アフターコロナに目を向けるだけでなく、長い目でみて協会としてどんなことができるのか、しっかり考えて行きたい。 ○今後、協会の定義をしっかりと決めなくてはならないと思う。例えば、宮城県、仙台の芸術文化をどんな困難な状況でもしっかりとつないでサポートしていく団体であるということを定義とする、など、明確にすることが重要であると思う。→次回にお示しできるように準備いたします。 ○今後の活動として、コロナが落ち着いた後、講習会等なども視野にいれていったらいいのでは。 ○前回の時に資料でいただいた、朝日新聞の記事の150万円の助成はどうなったかわかりますか。→第二次補正予算が成立しましたら、調べてお知らせいたします。 ■事務局からのお知らせ ○仙台市でガスフェアの企画コンペの募集がはじまりました。 ○県主催のイベントが9/26～27にある。 ○来年の3月まで2回実施予定の県主催のイベントの企画コンペもはじまりました。
その他	○他の近い業種、イベンター、ライブハウス等へ情報収集が必要。(継続) ○東北の他の県、新潟県、都内近郊の同業の会社や協会等の動きを確認。→ 今後の仕事の動きを随時確認。(継続) ○県内の市町村の情報収集。(継続)